



地域医療連携室だより



いよいよ秋も深まり、朝晩には肌寒さを感じる季節となりましたが、皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当センターは、2023年の新病院設立に向けて、ただいま研究棟解体工事を行っています。

右写真は10月20日朝、12階からの工事現場の様子です。

コロナ禍における面会制限や、研修会・勉強会の縮小など、なかなか足を運んでいただけない状況にあります。新しい生活様式を取り入れながら、地域連携の向上を目指して、今回はWEB勉強会のお知らせをさせていただきます。



リモートによる勉強会について

新型コロナウイルス感染症が収束しない中で、地域医療機関との連携をすすめていくために、11月からリモートによる勉強会等の開催をすることになりました。

開催日時：毎月第3木曜日 14:00 から 1 時間程度

開催方法：<はびきのチャンネル>を開設し、WEBによるライブ配信

*毎月発行する地域連携室だよりで、翌月開催する予定内容をお知らせします。

参加方法：参加を希望される先生方は、

メールアドレス：habikino_channel@ra.opho.jp

へ、送信してください。



<メールアドレス>

当センターより、招待用 URL メールを連絡させていただきます。

【11月の予定】

11月26日（木）14:00～15:00

小児科 吉田先生、高岡先生



「小児科における紹介患者について
～喘息、食物アレルギーを中心に～」



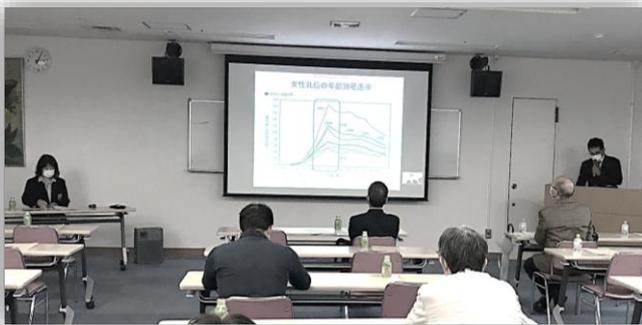
はびきのアカデミー開催しました！

10月17日（土）当センターにて第6回はびきのアカデミーを開催しました。コロナ禍での開催ということもあり、参加人数を制限させていただき、当日21名の先生方にご参加いただきました。ご多忙中、ご出席いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

なお、この講演内容は、登録医の先生方に限りYouTubeで閲覧できるようになりました。閲覧ご希望の方は、メールアドレス：hataj@opho.jpまでご連絡ください。

後日URLおよびQRコードをメールにて送らせていただきます。

***登録医になられていない先生方には、この機会にぜひ申請をお願いいたします。**



「乳がんの診断と治療」
乳腺外科 主任部長 安積先生



「新型コロナウイルスの診断
・治療・予防について」
感染症内科 医員 北島先生



地域医療連携室からのお願い



今年度、地域医療連携室では地域医療機関へ向けて、下記の取り組みを行っております。

◆地域診療情報連携システム「はびきのメディカルネット」(53号掲載)

現在、19医療機関より登録申し込みをいただき、12医療機関でシステム導入いただいております。お申し込みやシステム説明のご希望など、引き続き受け付けておりますので、ご連絡お待ちしております。

◆地域医療連携システム「メディマップ」(54号掲載)

先月号で情報提供のお願いをさせていただき、約40医療機関よりご返信いただきました。そして新たに19の医療機関より登録医の申請をしていただきました。ご紹介の際、患者さまのニーズに応え、サービス向上を目指して、いただいた情報を活用させていただきますので、ぜひともご返信くださいますようお願いいたします。また、登録医の先生方には、研修会や勉強会はもとより、病診連携の向上めざして様々な情報の発信を行っていきたく思いますので、登録医申請をどうぞよろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科 vol.2

◆ お知らせ

9月末日で田中晶平先生が異動となり、10月からは河辺隆誠先生が赴任しました。

〈河辺先生 ご挨拶〉 この度、耳鼻咽喉科に赴任しました、レジデントの河辺隆誠と申します。耳鼻咽喉科1年目は大阪労災病院、9月までは大阪大学医学部附属病院に勤務をしておりました。

まだまだ不慣れでご迷惑をおかけしておりますが、院内の皆様に支えていただき、感謝の毎日です。患者さまのお役に立てるよう邁進して参りますので、よろしくお願いいたします。



◆ 頭頸部領域の腫瘍について

当科では頭頸部領域の腫瘍病変に対する精査・加療を行なっております。

●精査に必須となる超音波検査・単純/造影CT・単純/造影MRIなどの各種画像検査や、鼻腔・咽喉頭・耳内の内視鏡検査、また腫瘍の穿刺による組織細胞診検査・生検による組織診検査などの検査を初診時より速やかに行い、腫瘍病変の診断を行なっております。

●耳下腺や顎下腺など唾液腺に発生する腫瘍病変としては良性：悪性が9:1程度と考えられており、良性腫瘍では多形腺腫・ワルチン腫瘍などが、悪性腫瘍としては粘表皮がん・腺様嚢胞がんや多形腺腫由来がんなどがみられます。特に顎下腺腫瘍においては50-60%が悪性であると考えられています。これらの背景から、当科においては唾液腺腫瘍に対して手術が望ましい患者様には積極的に手術加療を勧めております。良性腫瘍が疑われる場合は当科での手術を行なっており、悪性腫瘍が疑われる場合はがん治療を専門とする施設と連携して治療を進めております。

●甲状腺腫瘍病変に対しては良性が疑われる場合は当科で定期的な診察を行い、手術適応がある場合には手術を行っております。悪性が疑われる場合は上記と同様に専門とする施設と連携して治療を進めております。

頭頸部領域の腫瘍精査を必要とする患者さんにつきましては、当科にご紹介いただければ幸いです。



(左) 初診時でのエコー検査の様子
(右) 耳下腺腫瘍 (多形腺腫) のMRI T2画像

耳下腺腫瘍

小児科 vol.1

☎ 小児アレルギー電話相談について

小児アレルギーエデュケーター（アレルギー専門メディカルスタッフ）が対応しています。ぜひご紹介ください。



毎週：木曜日 14 時～15 時（年末年始、祝日は除く）

電話番号：072-957-2121

（電話交換にアレルギー相談とお伝えください）

☎ 論文の紹介～最近のトピックスより～

現在の食物アレルギー診療の Key となりつつあることに関して、日本からアレルギー分野では有力な雑誌に非常に意義深い報告がされていたので、共有させていただきます。

論文タイトル：Randomized trial of early infant formula introduction to prevent cow's milk allergy

出展：Journal of Allergy and Clinical Immunology Available online 2 September 2020

沖縄県のかりゆし会ハートライフ病院の崎原 徹裕先生らが行った育児用調製粉乳の早期導入による牛乳アレルギー発症予防に関するランダム化比較試験の結果の報告で

「生後 1～2 か月に粉ミルクを毎日摂取することで、牛乳アレルギー発症を防ぐことができる」という結論でした。

もちろん一つの報告ですので、すぐさま実臨床に取り入れていくものではないと思いますが、適切な時期に適切な量で早期摂取（完全除去にしない）させることが、食物アレルギー発症の Key であるとは思われました。今後、当院でも追試の検討をしていければと考えております。

食物アレルギーが疑われる状況で特定の食材の除去を指示される場合は当院小児科へご相談いただければと考えております。

🌿 次回は引き続き小児科（vol.2）、新たに呼吸器内科を掲載させていただく予定です。🌿

大阪はびきの医療センター 地域医療連携室

直通：072-957-8030 代表：072-957-2121

FAX：072-957-8051

地域連携室室長：川島 佳代子

マネージャー：秦 順子